

1.高規格幹線道路

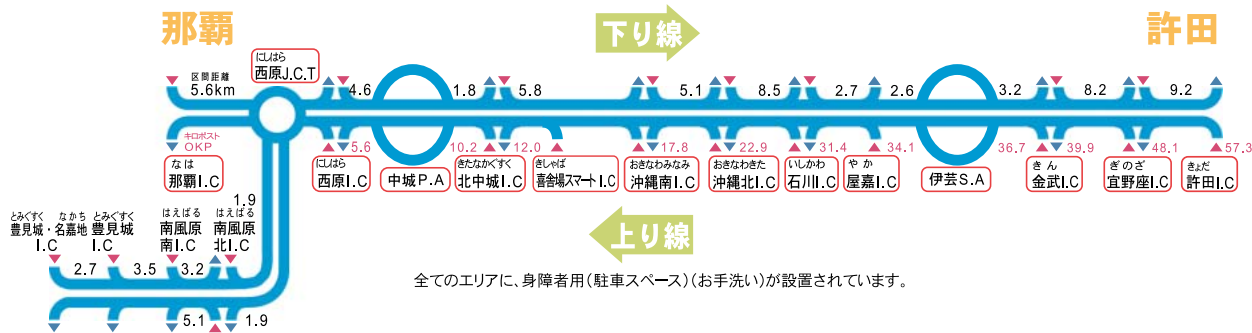
沖縄自動車道(高速自動車国道)

沖縄自動車道は、沖縄振興開発計画に基づき、本島の中南部都市圏と北部の名護市とを結ぶ自動車専用道路として計画されました。

名護市からうるま市までの北部区間29.5kmは、沖縄海洋博覧会が開かれた昭和50年に一般有料道路として開通しました。また、うるま市从那覇市までの南伸道31.4kmは、高速自

動車道として、昭和62年10月8日に供用を開始し、併せて北部区間が高速自動車国道に編入されました。

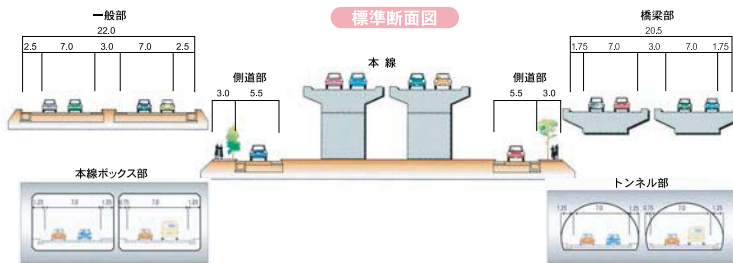
沖縄自動車道は南北間における輸送時間の短縮、通過交通と域内交通の分離及び国道58号を始めとする現道の交通混雑の緩和、交通事故の減少や広域生活圏形成の促進、生活環境の改善などに大きく寄与しています。



那覇空港自動車道(一般国道の自動車専用道路(国道506号))

那覇空港自動車道は、那覇空港と沖縄自動車道を結ぶ道路として、昭和62年6月に指定された一般国道の自動車専用道路です。

有料区間であった南風原道路は平成21年3月28日に無料化され、管理がNEXCO西日本から沖縄総合事務局南部国道事務所に変わりました。現在、豊見城東道路の豊見城・名嘉地ICまで全線暫定供用されています。



■計画の概要

事業名	延長	連結位置	連結道名	連結施設名
南風原道路	5.9km	西原町字池田	沖縄自動車道	西原J.C.T
		南風原町字与那覇	国道329号	南風原北I.C
豊見城東道路	6.2km	南風原町字山川	国道507号B.P	南風原南I.C
		豊見城市字平良	県道7号	豊見城I.C
小禄道路	5.7km	豊見城市字名嘉地	国道331号	豊見城・名嘉地I.C
		豊見城市瀬長	国道331号	(仮称)瀬長I.C
		那覇市鏡水	国道332号	(仮称)那覇空港I.C

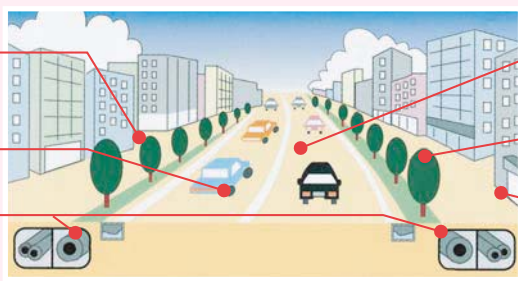
■事業の経緯

事業の手順	南風原道路(5.9km)	豊見城東道路(6.2km)	小禄道路(5.7km)
高規格幹線道路指定	S62.6.30	S62.6.30	S62.6.30
都市計画決定	H2.7.17	H2.7.17	H21.5.1
事業開始	S63年度	H3年度	H23年度
用地買収着手	H2年度	H5年度	-
工事着手	H4年度	H8年度	-
完成供用予定	H12.6.28供用	H20.3.22 全線暫定供用	-

ひとくちメモ

■道路のはたらき(道路は私たちの暮らしに欠かせないさまざまな機能を持っています。)

- アクセス機能**
(土地や建物への出入サービス)
- トラフィック機能**
(自動車、自転車の通行サービス)
- 公共施設の収容機能**
(電気・ガス・上下水道・通信
さらに地下鉄・地下街の収容)



- 防災空間機能**
(火災延焼防止スペース
災害時の避難路)
- 生活環境保全機能**
(快適な歩行空間、街並、
にぎわいを演出)
- 土地利用誘導機能**
(計画的市街地の形成、
地域開発の誘導)

道路の整備

2.地域高規格道路

■ 沖縄西海岸道路(連結機能)

読谷村から糸満市に至る延長約50kmの道路であり、高規格幹線道路である那覇空港自動車道と那覇空港、那覇港といった広域交通拠点を相互に連絡します。

■ 名護東道路(連結機能)

名護市街地から同市許田に至る延長約8kmの道路であり、高規格幹線道路である沖縄自動車道と、観光リゾート地、北部圏の中心都市である名護市を相互に連絡します。

■ 南部東道路(連携機能)

南風原町から南城市に至る延長約12kmの道路であり、南部東地域と現在整備促進中の高規格幹線道路那覇空港自動車道を相互に連絡します。

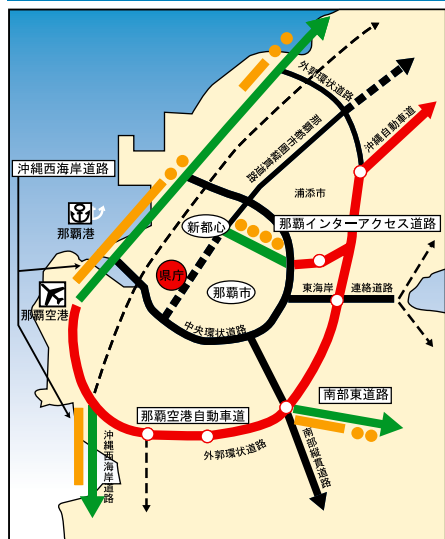
■ 那覇インターアクセス道路(連結機能)

沖縄自動車道那覇ICから那覇新都心に至る道路であり、高規格幹線道路である沖縄自動車道と那覇新都心を連絡します。

道路の整備

沖縄県幹線道路網（沖縄本島）

那覇新都心圏拡大図

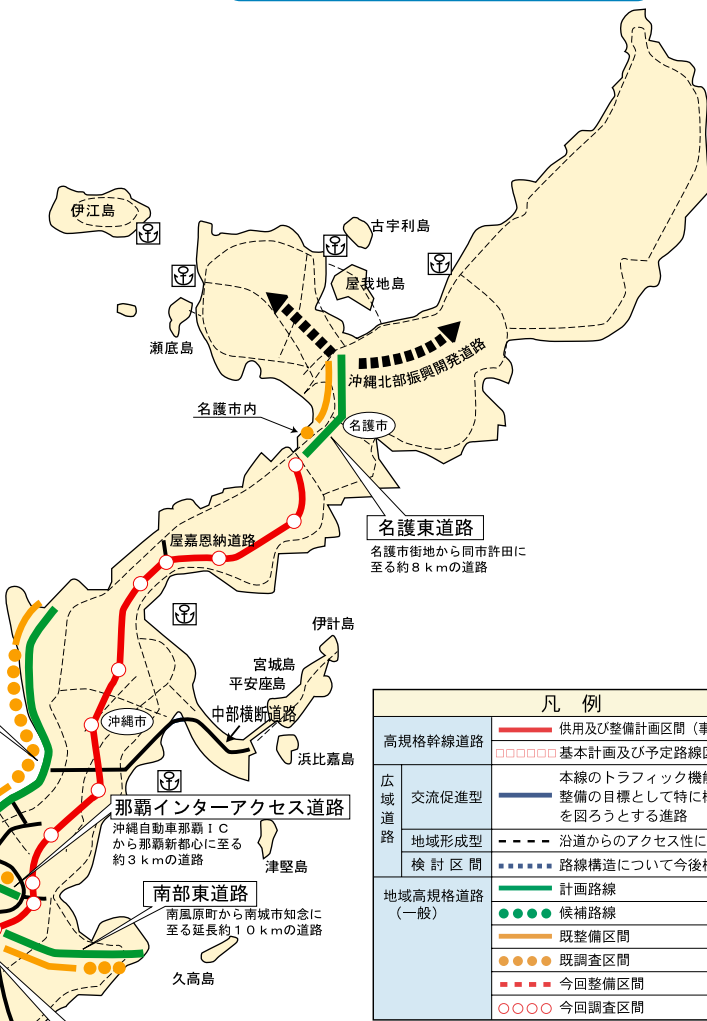


沖縄西海岸道路
読谷村から糸満市に至る
延長約50kmの道路

那覇インターアクセス道路
沖縄自動車道那覇IC
から那覇新都心に至る
約3kmの道路

南部東道路
南風原町から南城市知念に
至る延長約10kmの道路

那覇空港自動車道
那覇空港と沖縄自動車道を
結ぶ約20kmの道路



凡例	
高規格幹線道路	— 供用及び整備計画区間（事業中区間含む）
	□□□□□ 基本計画及び予定路線区間
広域道路	— 本線のトラフィック機能確保のため整備の目標として特に構造上の強化を図ろうとする進路
	- - - 沿道からのアクセス性に配慮した道路
地域形成型	— 沿道からのアクセス性に配慮した道路
	— 路線構造について今後検討する区間
地域高規格道路（一般）	— 計画路線
	●●●●● 候補路線
	— 既整備区間
	— 既調査区間
	— 今回整備区間
	○●○●○ 今回調査区間

上記は今後の道路整備のマスタープランであり、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません

南部東道路



南部東道路は、南城市知念・佐敷・玉城・大里から南風原町を經由して、那覇空港自動車道に連結する地域高規格道路であり、定時・定速を確保し、那覇市までの30分圏の確立を図り、地域住民に都市的サービスを提供するとともに、行動圏の拡大を図り、南部圏域の振興を支援する道路です。

計 画 概 要

計 画 区 間：南風原町～南城市
 計 画 路 線 指 定：平成6年12月
 調 査 区 間 指 定：平成9年9月
 整 備 区 間 指 定：平成18年3月
 整 備 区 間 延 長：約8km
 整 備 区 間：南風原町字山川～南城市玉城字垣花
 道 路 規 格：第3種第2級(設計速度60km/h)

南部東道路の整備効果

観光振興

南部東道路の整備によって…

観光地間のアクセス向上が期待できます。例えば、斎場御嶽から首里城までピーク時まで約20分の短縮が見込まれます。



医療支援

南部東道路の整備によって…

医療施設までの迅速な搬送が期待できます。南城市知念支所から県立南部医療センター・こども医療センターまでピーク時まで約18分の短縮が見込まれます。



産業振興

南部東道路の整備によって…

混雑緩和に伴う那覇空港までの物流の効率化が期待できます。これを渋滞損失額に換算すると、その削減量は、年間約32億円になります。また、空港までの30分圏域の人口は、約2.3万人増加します。



沿道環境

南部東道路の整備によって…

現道の沿道環境の改善が期待できます。例えば車の排出ガスであるCO₂、NO_x、SPMが年間あたりそれぞれ約4900t、20t、2tの削減が見込まれます。



那覇インターアクセス道路



那覇インターアクセス道路は、沖縄自動車道・那覇インターチェンジから那覇新都心に至る、延長3.4kmの地域高規格道路です。高規格道路である沖縄自動車道と那覇新都心を連絡することにより、中南部圏の中心都市としての那覇の拠点機能が高まるとともに、北部圏と中南部圏相互の交流を促進する道路として期待されています。

計 画 概 要

事業計画区間：那覇市真嘉比～南風原新川
 計 画 延 長：L=3.4km
 候 補 路 線 指 定：平成6年12月
 計 画 路 線 指 定：平成10年6月
 調 査 区 間 指 定：平成11年12月

3.一般国道（指定区間）

国(内閣府沖縄総合事務局)が管理する国道は、現在6路線(58号、329号、331号の一部、332号、506号、330号の一部)実延長309.3km(平成21年4月1日現在)で沖縄本島の主要な幹線道路を形成しています。

現在、増大する交通需要に対応するためバイパス等の整備を強力に推進しています。

■主な事業箇所

線路名	事業内容
国道58号	座津武防災、謝敷拡幅、名護東道路、恩納バイパス、恩納南バイパス、読谷道路、嘉手納バイパス、那覇西道路、浦添北道路
国道329号	宜野座改良、金武バイパス、与那原バイパス、南風原バイパス
国道331号	豊見城道路、糸満道路、中山改良
国道506号	豊見城東道路



国道331号豊見城道路

58 名護東道路

道路の整備



計画概要

道路規格	1種3級
区間	名護市大北～数久田
延長	6,800m
設計速度	80km/h
車線数	暫定2車線(完成4車線)

※名護市数久田～同市許田間(約1.6km)は調査中



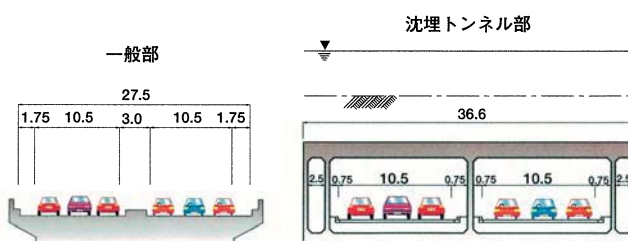
出典:北部国道事務所HP

58 那覇西道路(沖縄西海岸道路)



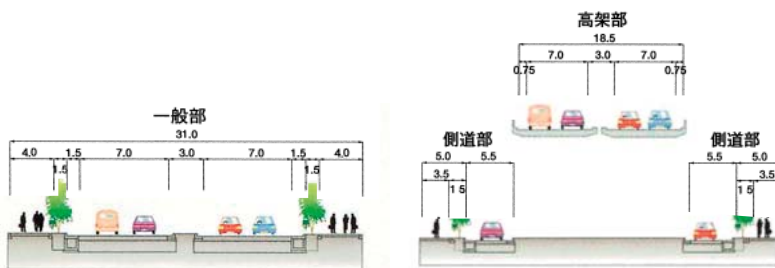
計画概要

道路規格	1種3級
区間	那覇市若狭～鏡水
延長	3,000m
設計速度	80km/h
車線数	6車線





331 豊見城道路(沖繩西海岸道路)

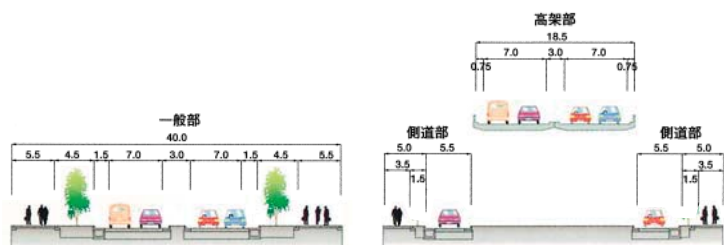


計画概要

道路規格	4種1級
区間	豊見城市瀬長～糸満市西崎
延長	4,000m
設計速度	60km/h
車線数	4車線



331 糸満道路(沖繩西海岸道路)



計画概要

道路規格	4種1級
区間	糸満市西崎～真栄里
延長	3,400m
設計速度	60km/h
車線数	4車線

